

令和7年 署勢概要



川崎市宮前消防署

目 次

宮前消防署のあゆみ	1
消防署の組織	10
消防署の事務分掌	11
消防職員の配置	14
車両等の配置状況	15
消防署所管内図・配置図	16
消防署所の受持区域及び応援区域	17
防火対象物の状況	18
各種届出状況	19
防火・防災管理対象物及び消防計画届出状況	20
建築同意事務処理状況	21
危険物許可施設状況	22
少量危険物施設状況	22
危険物保安監督者選任状況	22
月別火災状況	23
署所・町名別火災件数等	24
火災種別件数	25
出火原因別件数	25
令和6年中の主な火災	26
過去5年間の火災発生状況	28
過去5年間のガス事故発生状況	29
消防署所別管内消防隊災害出場状況	30
過去5年間の救急出場件数	31
消防団の組織	32
消防団車両等の配置状況	33
分団の受持区域等	33
消防団管内図・配置図	34
宮前区救急告示・救命救急センター医療機関	35
消防協力団体	35

宮前消防署のあゆみ

昭和15年12月	神奈川県川崎消防署を設置し、併せて高津出張所を開設した。
昭和18年12月	神奈川県川崎消防署中原出張所の消防署昇格に伴い、中原消防署高津出張所と改称した。
昭和22年10月	消防団令の公布に伴い、高津消防団を設置した。
昭和23年 3月	消防組織法の施行に伴い、官設消防が市移管となり、川崎市消防本部を設置した。
昭和34年 8月	川崎市の機構改革により、消防本部を消防局と改称した。
昭和38年 8月	中原消防署高津出張所を改築し、高津消防署に昇格した。
昭和40年 9月	高津消防署向丘出張所を開設した。
昭和42年11月	高津消防署野川出張所を開設した。
昭和45年 2月	高津消防署宮崎出張所を開設した。
5月	向丘出張所に大型救急車を配置した。
8月	宮崎出張所に救急隊を配置した。
昭和47年 4月	高津消防署菅生出張所を開設した。
11月	政令指定都市になり、区政を施行した（5区）。
昭和50年12月	向丘出張所に救急隊を配置した。
昭和52年 3月	救急隊の3部制を施行した。
昭和55年 4月	向丘出張所を増築した。
昭和57年 7月	高津消防署犬蔵出張所を開設した。
昭和59年 7月	高津区から宮前区が分区された（7区）。
10月	婦人消防隊委員会の発足により、第1期委員長に山田フサエが就任した。
昭和60年 7月 [宮前消防署開設]	宮前消防署新築工事を着工した。 宮前消防署を3課（庶務課、警防第1・2課）8係（庶務、機械、予防、保安、警備1・2、消防1・2）5出張所（向丘、野川、宮崎、犬蔵、菅生）で開設し、初代消防署長に田村義和が就任した。 人員135人、消防車両13台、救急車2台 向丘出張所の救急隊を宮前消防署へ配置替えた。 宮前消防団を設置し、初代消防団長に田邊清が就任した。 団員111人、消防車両6台（本団・宮前・向丘・野川分団） 宮前消防研究会を発足し、初代会長に伊藤豊が就任した（会員53人）。 宮前防火協会を発足し、初代会長に井田順登が就任した（会員85人）。 野川分団南野川班の小型動力ポンプが更新された。 本署に西独製30m級はしご車が配置された。 第2期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に山田フサエが引き続き、就任した。
8月	川崎富士見ライオンズクラブから予防広報車の寄贈を受けた。
12月	川崎宮前ロータリークラブから移動式投光器の寄贈を受けた。
昭和61年 1月	宮崎救急隊を野川出張所に配置替えし、野川救急隊とした。
6月	
10月	
昭和62年 2月	
4月	

		宮崎出張所の増改築工事完成、火災時等部隊出場時残留員廃止となり、訓令定員 133 人（2人減）とした。
昭和 63 年 3 月	12 月	初代防火協会長の退任により、第 2 代会長に小島隆が就任した。
	4 月	救助工作車を配置し、消防車両等 14 台、訓令定員 143 人とした。
	6 月	自治体消防 40 周年記念に伴い、職員の意見発表会、特別消防協力者等（消防協力団体 3 団体、防火管理等協力者 3 人、婦人消防隊協力者 2 人）の表彰式を実施した。
平成 元年 4 月	1 月	宮前消防団に日本消防協会から竿頭綬が授与された。
	12 月	初代消防署長の退職に伴い、第 2 代消防署長に川邊直行が就任した。
平成 2 年 2 月	4 月	第 3 期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に小森赫子が就任した。
	5 月	宮前区小台 1 丁目、安藤直氏から宮前救急車の寄贈を受けた。
	3 月	犬藏出張所の消防ポンプ自動車（CD-I 型）、野川出張所の救急自動車（2B 型）が更新配置された。
平成 3 年 1 月	4 月	消防署所の適正配置と消防施設の整備計画により、野川出張所を宮前区に移転・改築した。
	5 月	消防署の機構改革により、副署長が配置され、3 課（予防課、警防第 1・2 課）8 係（庶務、予防、保安、救急、警備 1・2、消防 1・2）となった。
	6 月	宮前区野川の建設現場（野川健康センター）の土砂崩れにより、死者 5 人、負傷者 2 人が生じた。
平成 3 年 2 月	2 月	野川出張所の消防ポンプ自動車（CD-I 型）が更新配置された。
	3 月	本署にポンプ積載車が配置、宮前分団神木班に小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成 3 年 12 月	4 月	宮前分団土橋班器具置場が改築された。
平成 4 年 1 月	4 月	第 2 代消防署長の退職に伴い、第 3 代消防署長に山田秀久が就任した。
	6 月	幼年消防クラブが初山幼稚園及びゆりかご幼稚園の 2 園で発足した。
	1 月	第 4 期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に本橋浦子が就任した。
	2 月	川崎市婦人消防隊育成検討委員会委員長に本橋浦子が就任した。
	6 月	宮前分団土橋班の消防ポンプ専用積載車が更新配置された。
平成 4 年 2 月	1 月	向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I 型）が更新配置された。
	2 月	本署に水槽（2t）付消防ポンプ自動車が配置された。
	6 月	宮前救急隊及び野川救急隊に自動車電話を新配置し、運用を開始した。
平成 4 年 10 月	1 月	第 1 期少年消防クラブが 30 人で発足した。運営委員長に三宅尤夫が就任した。
	10 月	向丘出張所改築のため犬藏出張所へ一時移転した。
平成 4 年 11 月	1 月	宮前分団土橋班の小型動力ポンプが更新配置された。
平成 4 年 4 月	1 月	宮前分団有馬班の名称が住居表示の変更に伴い、馬絹班と変更した。
	4 月	第 3 代消防署長の異動に伴い、第 4 代消防署長に三木康敬が就任した。

	6月	第5期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に与田好子が就任した。
	9月	週休二日制の試行に伴い、救急隊が3部制から2部制になり、訓令定員を155人とした。
	11月	本署の広報車が更新配置された。
	12月	向丘出張所の改築工事が完了し、業務を開始した。
		野川分団野川班、南野川班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成 5年	3月	週休二日制が導入され、訓令定員を156人とした。
	4月	第4代消防署長の退職に伴い、第5代消防署長に崔田正彦が就任した。
	5月	初代消防団長の退団に伴い、第2代消防団長に井田耕夫が就任した。
	12月	宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成 6年	4月	消防情報管理システムを導入し、運用を開始した。
	5月	防火推進モデル地区として、大塚町内会を指定した。
	6月	第6期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に甲田悦子が就任した。
	9月	本署の査察車（II型）、宮崎出張所の防災資機材運搬車が更新配置された。
	11月	宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
平成 7年	2月	野川出張所に予備はしご車が配置換えされた。
	3月	救急救命士の配置に伴い、本署に高規格救急車が新配置された。
	4月	第5代消防署長の退職に伴い、第6代消防署長に小林一也が就任した。
	7月	宮前消防団発足10周年記念消防操法大会を実施した。
	9月	向丘分団蔵敷班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	10月	菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	11月	宮前消防10周年記念誌を発刊した。
		救急救命士の配置に伴い、野川出張所に高規格救急自動車が配置された。
平成 8年	1月	本署の査察車（I型）が更新配置された。
	3月	本団、向丘分団蔵敷班、宮前分団馬絹班の小型動力ポンプが更新配置された。
	4月	条例改正により、宮前消防団員の定員を125人（女性含む）とした。
	6月	第6代消防署長の異動に伴い、第7代消防署長に渡部清が就任した。
平成 9年	2月	第7期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に菅井保子が就任した。
	3月	犬蔵出張所の水槽（5t）付消防ポンプ車が更新配置された。
	4月	川崎富士見ライオンズクラブから消防用調査連絡車の寄贈を受けた。
	6月	野川分団の対震用小型動力ポンプが更新配置された。
		第7代消防署長の退職に伴い、第8代消防署長に岩井肇が就任した。
		防火推進モデル地区として馬絹小台町内会を指定した。
		潮見台みどり幼稚園が3園目の幼年消防クラブとして結成された。

10月	本署の広報車（Ⅲ型）が更新配置された。
平成10年 2月	本署の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 向丘分団蔵敷班の対震用小型動力ポンプが更新された。 宮前消防ボランティア委員会が発足し、初代委員長に猿橋脩恵が就任した。 宮前消防ボランティア委員会発足に伴い、（株）タマショウ社長 高原司氏から、ヘルメット300個の寄贈を受けた。
6月	第8期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に菅井保子が引き続き就任した。
7月	宮前防火協会が消防庁長官表彰を受賞した。
10月	救助資器材として、ルーカス製ユニツール、救助用エアーマットが新配置された。
平成11年 4月	消防署の機構改革により、3課（予防課、警防第1・2課）、9係（庶務、予防、指導、警備1・2、消防1・2、救急1・2）となった。
7月	消火機材として、インパルス消火システムが配置された。
9月	宮前消防ボランティア委員会は、宮前区を5ブロックに区分し、各ブロックにリーダー1人、サブリーダー2人を選出し、配置した。
平成12年 4月	第8代消防署長の退職に伴い、第9代消防署長に千頭和雄一が就任した。
6月	第9期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に綿藤子が就任した。
9月	宮前区の人口が市内7区で、初めて20万人を超えた。
10月	宮前分団馬絹班、野川分団南野川班に対震用小型動力ポンプが配置された。
11月	第2代消防団長の退団に伴い、第3代消防団長に篠田茂が就任した。
平成13年 2月	本署の高規格救急自動車が更新配置された。
3月	犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	平成12年度原子力防災資機材等緊急整備事業に基づき、原子力防災資機材等が配置された。
4月	第9代消防署長の異動に伴い、第10代消防署長に菅原満が就任した。
6月	少年消防クラブ初代運営委員長の辞任に伴い、第2代運営委員長に吉井勇が就任した。
12月	野川出張所に配置されていた非常用はしご車を廃車した。 野川出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
平成14年 2月	野川出張所及び向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	第2代防火協会長の辞任に伴い、第3代会長に秋山義隆が就任した。
4月	第10代消防署長の異動に伴い、第11代消防署長に小林道正が就任した。
6月	第10期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に宗岡純子が就任した。
平成15年 3月	本署の救助工作車が更新配置された（Ⅱ型→Ⅲ型）。

	4月	第11代消防署長の退職に伴い、第12代消防署長に原光男が就任した。 消防署の機構改革により、副署長と予防課長が兼務となり、警防統括主幹が配置されると共に、3課（予防課、警防第1・2課）8係（庶務、予防、警防1・2、調査1・2、救急1・2）1主査（危険物担当）とされた。
平成16年	1月	宮崎出張所に高規格救急自動車が配置された。
	4月	第12代消防署長の異動に伴い、第13代消防署長に中島清一が就任した。
	6月	本署の広報車が更新配置された。 宮前防火協会役員改選により、第4代会長に黒沢一之が就任した。
	11月	第11期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が就任した。 第3代消防団長の退団に伴い、第4代消防団長に石川富美雄が就任した。
平成17年	3月	菅生出張所の救急隊発隊と併せて、庁舎の増改築工事が完成し、高規格救急自動車が配置された。
	4月	第13代消防署長の退職に伴い、第14代消防署長に江口昭男が就任した。
	5月	本署の40m級はしご車が更新配置された。 初代消防研究会長の辞任に伴い、第2代会長に猿橋脩恵が就任した。 初代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第2代委員長に中山悦義が就任した。
	7月	宮前消防団発足20周年記念消防操法大会を実施した。 宮前消防関係団体20周年記念表彰式において、川崎市消防局長から宮前消防関係3団体（宮前消防団、宮前防火協会、宮前消防研究会）に表彰状が授与された。
	11月	宮前消防署20周年記念消防フェアを川崎市消防総合訓練場で開催した。
平成18年	6月	本署のポンプ積載車が更新配置された。 向丘分団神木班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。 第12期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が引き続き就任した。
	8月	川崎市婦人消防隊育成検討委員会委員長に、芒崎八重子が就任した。
	9月	野川出張所の防災資機材運搬車が更新配置された。
	10月	宮前分団土橋班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。 救急救命士による薬剤投与の運用を開始した。
平成19年	1月	本署の水槽（2t）付消防ポンプ自動車が更新配置された。
	2月	高度特別救助隊の運用開始に伴う人事異動により、訓令定員を172人とした。
	4月	第14代消防署長の退職に伴い、第15代消防署長に内田謙一が就任した。

		宮前消防署に高度救助隊が発足し、運用を開始した。
6月		宮前防火協会役員改選により、第5代会長に工藤正興が就任した。
7月		市内一斉でPA連携の運用を開始した。
平成20年 1月		区内関係団体（宮前区役所、宮前警察署、宮前郵便局、宮前生活環境事業所）の協力を得て、宮前区救命ネットワークを立ち上げ、4月1日から運用開始することとなった。
		本署及び野川出張所の高規格救急自動車と、宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
4月		指揮情報隊の運用に伴う人事異動により、訓令定員を180人とした。 新中原消防署の竣工に伴い、野川出張所の防災資機材運搬車が新中原消防署に配置換えとなった。
		菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）は、車両更新計画に基づき予備車運用とされたことから、小田中出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が配置換えとなった。
6月		第13期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が就任した。
7月		救急車の適正利用推進事業として、サポート救急の運用を開始した。
9月		本署の広報車（軽ワゴン）が更新配置された。
12月		野川分団野川班、南野川班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成21年 3月		本署の指揮車（普通ワゴン）が更新配置された。
4月		向丘出張所の残留員の廃止により、訓令定員177人となった。 第15代消防署長の異動に伴い、第16代消防署長に南部浩一が就任した。
		第4代消防団長の退団に伴い、第5代消防団長に永井輝政が就任した。
6月		少年消防クラブ改選に伴い、第3代運営委員長に谷島義雄が就任した。
9月		本署の査察車II（軽ワゴン）が更新配置された。
11月		宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成22年 3月		本署の消防ポンプ自動車（CD-I型）及び宮崎出張所の高規格救急車が更新配置された。
		平成21年12月3日の宮前地区局所的豪雨災害を教訓として、宮前消防署、宮前区役所、宮前道路公園センター、宮前警察署から構成する宮前区災害対策連絡協議会が設置された。
4月		第16代消防署長の異動に伴い、第17代消防署長に佐藤文隆が就任した。
		本署に特殊災害対応自動車が配置された（臨港消防署から配置換え）。
		本署に大型除染システム搭載車が配置された（総務省消防庁から貸与）。
6月		第14期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が引き続き就任した。

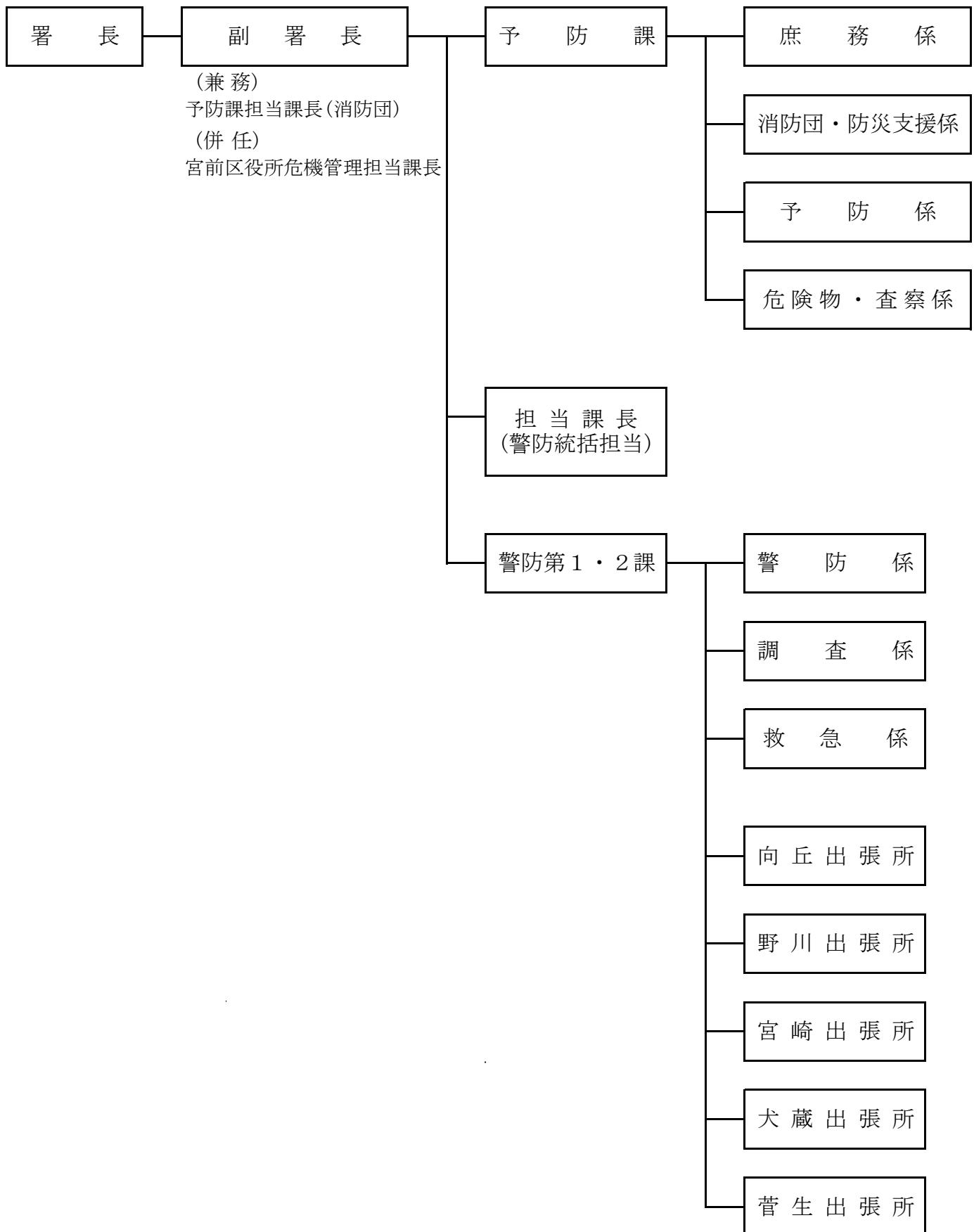
平成23年 4月	11月	日本APEC開催に伴う特別警防体制を実施した（救急隊増隊等）。向丘出張所に市内25隊目の救急隊が配置され、向丘救急隊の運用に伴い、訓令定数を187人とした。
	8月	向丘分団蔵敷班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	9月	菅生ヶ丘において、焼損面積が3,000m ² を超える倉庫火災が発生した。
	11月	向丘出張所の高規格救急車が更新配置された。
	平成24年 3月	菅生出張所の高規格救急車が更新配置された。
	4月	第17代消防署長の異動に伴い、第18代消防署長に庄司茂が就任した。
		消防団員用MCA無線機及びトランシーバーが配置された（消防団安全対策設備整備事業）。
		第5代消防団長の退団に伴い、第6代消防団長に吉田義一が就任した。
	6月	第15期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が就任した。
	7月	宮前防火協会役員改選により、第6代会長に杉田進が就任した。
平成25年 2月	8月	ヘリコプター簡易受信装置が配置され、運用開始した。
	10月	菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
		本団、宮前分団土橋班、向丘分団神木班、野川分団野川班の対震用小型動力ポンプが更新配置された。
		警防査察用オートバイが8台更新配置された。
	3月	犬蔵出張所の水槽付（4t）ポンプ車が更新配置された。
	4月	第18代消防署長の退職に伴い、第19代消防署長に並木努が就任した。
	5月	警防査察用オートバイが3台更新配置された。
		第2代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第3代委員長に砂川徹夫が就任した。
	11月	新市長登庁に伴い、多摩消防署の災害対応指令車（多摩指揮2）が宮前消防署本署に配置換えになり、宮前指揮2として配置された。
	12月	宮前分団馬絹班、向丘分団蔵敷班、野川分団南野川班の対震用小型動力ポンプが更新配置された。
平成26年 2月	野川出張所	の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	犬蔵出張所	の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
		本署の高規格救急自動車が更新配置された。
		有馬白百合幼稚園より、AEDレサシアン（成人）2体及びAEDトレーナー2基が寄贈された。
		警防査察用オートバイが8台更新配置された。
	3月	本署の水槽（2t）付消防ポンプ自動車が更新配置された。
		宮前区内に在住のバイク愛好家らで構成されるペガサス宮前と東日本大震災が発生した3月11日に災害時連携協約を締結した。
	6月	第16期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が引き続き

		就任した。
9月		警防査察用オートバイが5台更新配置された。
11月		区内避難所（指定された小中学校）に消火ホースキットの配置を開始した（3年計画で初回は鷺沼小学校に配置）。
平成27年 3月		宮前消防団発足30周年式典を開催した。
4月		向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 菅生出張所の配置人員の変更により訓令定数を184人とした。 第19代消防署長の異動に伴い、第20代消防署長に原悟志が就任した。
		第6代消防団長の退団に伴い、第7代消防団長に秋山明が就任した。 野川出張所の高規格救急自動車が更新配置された。 本署のはしご車（30m級）が更新配置された。
6月		宮前防火協会改選により、第7代会長石田周二が就任した。 警防査察用オートバイが1台更新配置された。
7月		本署の広報車が更新配置された。
平成28年 3月		菅生出張所改築工事が終わり、運用を開始した。
4月		第20代消防署長の異動に伴い、第21代消防署長に金子智哉が就任した。
		本署の特殊災害対応自動車及び高度救助用資機材の更新配置等に伴い、宮前高度救助隊を宮前特別高度救助隊として、運用を開始した。
6月		少年消防クラブ改選に伴い、第4代運営委員長に篠崎英雄が就任した。
7月		第17期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が就任した。 野川出張所の大型除染システム搭載車が犬藏出張所に配置換えとなつた。 本署の広報車が更新配置された。
11月		宮崎出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
12月		警防査察用オートバイが1台更新配置された。
平成29年 3月		消防団員用MCA無線機6台が追加配置された。
4月		宮前ジュニアハイスクール消防隊育成指導が本格運用することとなつた。
5月		宮前消防研究会改選により、第3代会長檜垣隆三が就任した。
6月		宮前防火協会改選により、第8代会長渡邊浩志が就任した。
7月		警防査察用オートバイが1台更新配置された。
12月		本署の救助工作車が更新配置された。
平成30年 1月		向丘出張所、菅生出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
4月		第21代消防署長の退職に伴い、第22代消防署長に砥石勝美が就任した。
		第7代消防団長の退団に伴い、第8代消防団長に杉田正文が就任した。
7月		第18期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に岡本朋子が就任した。

	11月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
平成31年	2月	宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
令和元年	5月	少年消防クラブ改選に伴い、第5代委員長に野村美千代が就任した。
	6月	宮前防火協会改選により、第9代会長石川閣が就任した。
令和2年	2月	警防部警防課の警防連絡車が宮前消防署本署に配置換えになり、宮前指揮2として更新配置された。
令和2年	3月	宮前地区婦人消防隊委員会が解散した。
	9月	本署の査察車（スバル）が更新配置された。
	11月	本署の高規格救急自動車が更新配置された。
令和3年	2月	向丘分団神木班の小型動力ポンプが更新配置された。
	4月	本署のポンプ積載車が更新配置された。
	12月	第22代消防署長の異動に伴い、第23代消防署長に杉山哲男が就任した。
令和4年	1月	野川出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	3月	本署の指揮車が更新配置された。
	4月	宮前分団土橋班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	10月	消防署の機構改革により、3課（予防課、警防第1・2課）、10係（庶務、消防団・防災支援、予防、危険物・査察、警防1・2、調査1・2、救急1・2）となった。
令和5年	1月	宮崎出張所改築のため犬蔵出張所へ移転し、業務を開始した。
	2月	本署の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	3月	本署の査察車（スズキ）が更新配置された。
	4月	宮崎出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	10月	第23代消防署長の異動に伴い、第24代消防署長に佐川勉が就任した。
令和6年	2月	第8代消防団長の退団に伴い、第9代消防団長に持田弘二が就任した。
	5月	宮前消防研究会改選により、第4代会長に石田仁彦が就任した。
	11月	向丘出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
令和6年	2月	野川分団野川班と南野川班の小型動力ポンプ付き積載車が更新配置された。
	3月	菅生出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	4月	第24代消防署長の異動に伴い、第25代消防署長に飯田康行が就任した。
	5月	第3代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第4代委員長に斎藤一久が就任した。
	6月	宮崎出張所改築工事が終わり、運用を開始した。
令和7年	2月	宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	4月	菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	10月	第9代消防団長の退団に伴い、第10代消防団長に井梅均が就任した。

消 防 署 の 組 織

(令和7年4月1日現在)



消防署の事務分掌

予防課

係	担当事務
庶務係	1 公印の保管に関すること。 2 公文書の管理に関すること。 3 署員の人事及び配置に関すること。 4 署員の給与等の支給に関すること。 5 署員の安全管理、福利厚生及び公務災害に関すること。 6 署員の研修管理に関すること。 7 消防施設の保守管理に関すること。 8 物品の出納保管に関すること。 9 消防用油脂類に関すること。 10 車両の点検及び定期点検に関すること。 11 広報及び広聴に関すること。 12 署内他の係の主管に属しないこと。
消防防災支援・係	1 消防団等に関すること。 2 消防団の機械器具等に関すること。 3 地域における防災活動の支援に関すること。
予防係	1 火災予防の実施計画に関すること。 2 防火管理に関すること。 3 防災管理に関すること。 4 建築物の消防同意等及び検査に関すること。 5 火災予防関係の申請及び届出に関すること。 6 屋外の火災予防に関すること。 7 防火協会等各種団体に関すること。 8 消防用設備等に関すること。 9 その他火災予防に関すること。
危険物・検査係	1 危険物製造所等の許可、承認及び届出に関すること。 2 危険物製造所等の完成検査前検査及び完成検査に関すること。 3 危険物製造所等の保安に関すること。 4 危険物施設等に係る立入検査及び違反処理に関すること。 5 少量危険物及び指定可燃物の届出並びにタンクの水張検査等に関すること。 6 危険物及び指定可燃物に係る災害調査に関すること。 7 危険物施設に係る消防用設備等に関すること。 8 危険物事故防止等に関すること。 9 危険物許可手数料の徴収、出納に関すること。 10 火薬類及び高圧ガスに関すること。 11 予防係に属さない外郭団体に関すること。 12 防火対象物に係る立入検査及び違反処理に関すること。 13 屋外の火災予防に関すること。 14 防火対象物の表示制度等に関すること。

警防第1課・警防第2課

係	担当業務
警防係	<p>1 災害活動に関すること。</p> <p>2 警防計画及び防災対策に関すること。</p> <p>3 警防体制、災害活動の指揮に関すること。</p> <p>4 消防職員及び消防団員の動員に関すること。</p> <p>5 火災警報、消防信号及び消防通信に関すること。</p> <p>6 消防地理及び消防水利に関すること。</p> <p>7 消防隊等の運用及び訓練に関すること。</p> <p>8 救助業務に関すること。</p> <p>9 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練の指導等に関すること。</p> <p>10 圧縮アセチレンガス等の消防活動阻害物質に関すること。</p> <p>11 消防用機械器具に関すること。</p> <p>12 機関員の技術指導に関すること。</p> <p>13 消火薬剤等に関すること。</p> <p>14 課内他の係の主管に属しないこと。</p>
調査係	<p>1 火災の調査及び災害調査に関すること。</p> <p>2 指揮情報隊に関すること。</p> <p>3 火災統計に関すること。</p> <p>4 災害情報及び災害現場広報に関すること。</p> <p>5 火災予防指導等に関すること。</p> <p>6 課の安全管理に関すること。</p>
救急係	<p>1 救急活動に関すること。</p> <p>2 救急隊の運用及び訓練に関すること。</p> <p>3 メディカルコントロールに関すること。</p> <p>4 救急資機材に関すること。</p> <p>5 救急統計に関すること。</p> <p>6 救急技術の研究に関すること。</p> <p>7 市民に対する救急技術の指導及び救急知識の普及に関すること。</p> <p>8 救急告示医療機関等の連絡に関すること。</p> <p>9 その他救急業務に関すること。</p>

出張所

課	担当事務
警防第1課 ・警防第2課	<p>1 消防施設の保守管理に関すること。</p> <p>2 物品の保管に関すること。</p> <p>3 広報及び広聴に関すること。</p> <p>4 消防用機械器具に関すること。</p> <p>5 警防計画に関すること。</p> <p>6 消防地理及び消防水利に関すること。</p> <p>7 災害情報の収集に関すること。</p> <p>8 職場研修に関すること。</p> <p>9 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練の指導等に関すること。</p> <p>10 火災の調査及び災害調査に関すること。</p> <p>11 救急に関すること。</p> <p>12 火災予防指導等に関すること。</p> <p>13 消防法（昭和23年法律第186号）、川崎市火災予防条例（昭和48年川崎市条例第36号）及び川崎市防火管理等に関する規程（平成11年消防局訓令第18号）に基づく届出等のうち、別に定めるものの処理に関すること。</p> <p>14 その他、消防長が定める事項に関すること。</p>

消防職員

(令和7年4月1日現在)

区分 署所別		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
定員		184	1	5	20		158		
本署	予防課	18 (3)	1	2	4	1	8 (3)		2
	警防第1課	31		2	4	8	11		6
	警防第2課	30		1	5	8	10		6
派出所	向丘	22			2	5	5	1	9
	野川	22			2	6	6		8
	宮崎	22 (2)			2	6	7 (1)		7 (1)
	犬藏	14			2	4	5		3
	菅生	22			2	5	6	1	8

※ () 内は女性職員数で、内数です。

※ 署長、副署長は予防課、担当課長（警防統括担当）は本署警防第1課の欄に計上しています。

消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

(令和7年4月1日現在)

車種	合計	本署	向丘	野川	宮崎	犬藏	菅生
消防ポンプ車	7 (1)	1	1	1	1	2 (1)	1
水槽付消防ポンプ車	2	1	-	-	-	1	-
はしご車	1	1	-	-	-	-	-
救助工作車	1	1	-	-	-	-	-
高規格救急車	6 (1)	2 (1)	1	1	1	-	1
指揮車	2	2	-	-	-	-	-
ポンプ積載車	1	1	-	-	-	-	-
特殊災害対応車	1	1	-	-	-	-	-
大型除染システム搭載車	1	-	-	-	-	1	-
広報車	2	2	-	-	-	-	-
査察車	2	2	-	-	-	-	-
合計	26 (2)	14 (1)	2	2	2	4 (1)	2

※ () 内は非常用車両で、内数を示す。

消防署・出張所配置図

(令和7年4月1日現在)



面 積	18. 60 km ²
世 帯 数	107, 659世帯
人 口	234, 355人

凡 例

○ 消防署

○ 消防出張所

消防署所の受持区域及び応援区域

(令和7年4月1日現在)

署 所	受 持 区 域	隣接都市応援区域
本 署 宮前平2丁目20番地4	宮前区のうち、神木1・2丁目、小台1・2丁目、土橋1・2・7丁目、宮崎、宮崎1~6丁目、宮前平1~3丁目、馬絹5・6丁目	東名高速道路のうち、川崎インターチェンジから東京インターチェンジまでの区間の上り車線及び川崎インターチェンジから横浜青葉インターチェンジまでの区間の下り車線 横浜北西線横浜青葉ジャンクションのうち、東名高速道路下り線分岐から東名高速道路上り線からの連結路との合流までの区間
向 丘 出 張 所 平1丁目4番17号	宮前区のうち、平1~6丁目、神木本町1~5丁目、五所塚1・2丁目、けやき平、南平台、白幡台1・2丁目	
野 川 出 張 所 西野川2丁目7番8号	宮前区のうち、野川台1~3丁目、南野川1~3丁目、野川本町1~3丁目、西野川1~3丁目、梶ヶ谷	横浜市都筑区のうち、東山田町、東山田一~四丁目、南山田町、南山田一~三丁目、北山田一~七丁目
宮 崎 出 張 所 有馬2丁目8番11号	宮前区のうち、馬絹1~4丁目、有馬1~9丁目、東有馬1~5丁目	横浜市都筑区のうち、牛久保町、牛久保一~三丁目、牛久保西一・三丁目、牛久保東一~三丁目、すみれが丘、大棚町、大棚西、中川六丁目、中川中央一丁目、あゆみが丘 青葉区のうち、新石川一~四丁目
犬 蔵 出 張 所 犬蔵1丁目10番2号	宮前区のうち、初山2丁目、菅生6丁目、犬蔵1~3丁目、土橋3~6丁目、鷺沼1~4丁目	横浜市青葉区のうち、元石川町、美しが丘西一~三丁目、美しが丘一~五丁目 東名高速道路は、本署応援区域に同じ
菅 生 出 張 所 菅生3丁目43番23号	宮前区のうち、菅生1~5丁目、初山1丁目、菅生ヶ丘、水沢1~3丁目、潮見台	

防 火 対 象 物 の 状 況

(令和7年3月31日現在)

		区分	小計	第1種対象物	第2種対象物	第3種対象物
1	イ	劇場、映画館等	-	-	-	-
	ロ	公会堂、集会場	-	-	-	-
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	-	-	-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール	2	2	-	-
	ハ	性風俗営業店舗等	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	1	1	-	-
3	イ	待合料理店等	-	-	-	-
	ロ	飲食店	60	50	-	10
4		百貨店、マーケット等	126	75	-	51
5	イ	旅館、ホテル等	7	6	-	1
	ロ	寄宿舎、共同住宅等	3,197	-	771	2,426
6	イ	病院、診療所等	35	9	-	26
	ロ	福祉施設(入所)等	59	49	-	10
	ハ	福祉施設(通所)等	131	90	-	41
	ニ	幼稚園、特別支援学校	14	14	-	-
7		小、中、高等学校、大学等	28	-	27	1
8		図書館、博物館	1	-	1	-
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	-	-	-	-
	ロ	上記以外の公衆浴場	1	-	1	-
10		車両の停車場等	2	-	-	2
11		神社、寺院等	18	-	8	10
12	イ	工場、作業場	97	-	1	96
	ロ	映画スタジオ等	2	-	-	2
13	イ	自動車車庫等	11	-	-	11
	ロ	飛行機格納庫等	-	-	-	-
14		倉庫	91	-	5	86
15		前各号に該当しない事業場	198	-	73	125
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途	468	280	-	188
	ロ	上記以外の複合用途	449	-	91	358
16の2		地下街	-	-	-	-
16の3		準地下街	-	-	-	-
17		重要文化財	-	-	-	-
18		50m以上のアーケード	-	-	-	-
19		山林	-	-	-	-
20		舟車	-	-	-	-
合 計		4,998	576	978	3,444	

※「第1種」とは、特定防火対象物で収容人員30人(福祉施設入所10人)以上のもの

※「第2種」とは、非特定防火対象物で収容人員50人以上のもの

※「第3種」とは、自動火災報知設備または消火器を設置しなければならないもの
(第1種、第2種を除く)

各種届出状況

(令和6年度)

区分	届出数
防火防災管理者選任(解任)届出書	497
統括防火防災管理者選任(解任)届出書	20
消防(防災)計画作成(変更)届出書	550
全体についての消防計画作成(変更)届出書	44
喫煙、裸火使用又は危険物品持込み承認申請書	5
防火対象物使用開始届	116
改裝工事等届	3
火を使用する設備等の設置届	5
電気設備設置届	42
工事整備対象設備等着工届出書	145
消防用設備等工事計画届	117
消防用設備等設置届出書	415

防火・防災管理対象物及び消防計画届出状況

(令和7年3月31日現在)

区分		防火管理対象物 対象数	防災管理対象物 対象数	消防計画 届出数
1	イ	劇場、映画館等	-	-
	ロ	公会堂、集会場	-	-
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	-
	ハ	性風俗営業店舗等	-	-
	ニ	カラオケボックス等	1	-
3	イ	待合料理店等	-	-
	ロ	飲食店	57	-
4		百貨店、マーケット等	109	-
5	イ	旅館、ホテル等	6	-
	ロ	寄宿舎、共同住宅等	839	-
6	イ	病院、診療所等	19	-
	ロ	福祉施設(入所)等	53	-
	ハ	福祉施設(通所)等	93	-
	ニ	幼稚園、特別支援学校	15	-
7		小、中、高等学校、大学等	43	-
8		図書館、博物館	1	-
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	-	-
	ロ	上記以外の公衆浴場	1	-
10		車両の停車場等	-	-
11		神社、寺院等	9	-
12	イ	工場、作業場	1	-
	ロ	映画スタジオ等	-	-
13	イ	自動車車庫等	-	-
	ロ	飛行機格納庫等	-	-
14		倉庫	5	-
15		前各号に該当しない事業場	108	-
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途	1,151	4
	ロ	上記以外の複合用途	327	-
16の2		地下街	-	-
16の3		準地下街	-	-
17		重要文化財	-	-
18		50m以上のアーケード	-	-
19		山林	-	-
20		舟車	-	-
合計		2,841	4	2,479

用途別・構造別建築同意事務処理状況

(令和6年度)

区分別		構造別	小計	耐火建築物	準耐火建築物	不燃建築物	防火建築物	木造建築物
1	イ	劇場、映画館等	-	-	-	-	-	-
	ロ	公会堂、集会場	-	-	-	-	-	-
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗営業店舗等	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-
3	イ	待合料理店等	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	2	-	-	1	-	1
4		百貨店、マーケット等	2	1	-	-	3	-
5	イ	旅館、ホテル等	-	-	-	-	-	-
	ロ	寄宿舎、共同住宅等	31	9	10	2	4	-
6	イ	病院、診療所等	1	-	-	-	-	-
	ロ	福祉施設(入所)等	6	2	1	-	-	-
	ハ	福祉施設(通所)等	-	1	1	-	2	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校	-	-	-	-	-	-
7		小、中、高等学校、大学等	2	1	-	-	1	-
8		図書館、博物館	-	-	-	-	-	-
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	-	-	-	-	-	-
	ロ	上記以外の公衆浴場	-	-	-	-	-	-
10		車両の停車場等	-	-	-	-	-	-
11		神社、寺院等	-	-	-	-	-	-
12	イ	工場、作業場	-	-	-	-	-	-
	ロ	映画スタジオ等	-	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫等	3	-	-	-	3	-
	ロ	飛行機格納庫等	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	1	-	-	1	-	-
15		前各号に該当しない事業場	8	-	3	1	1	-
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途	5	4	-	-	-	-
	ロ	上記以外の複合用途	-	-	-	-	-	-
16の2		地下街	-	-	-	-	-	-
16の3		準地下街	-	-	-	-	-	-
17		重要文化財	-	-	-	-	-	-
18		50m以上のアーケード	-	-	-	-	-	-
専用住宅		335	-	-	-	-	-	-
工作物(エレベーター)		-	-	-	-	-	-	-
合計		396	37	162	11	181	5	

危険物許可施設状況

(令和7年3月31日現在)

署所別 施設別		合計	本署	向丘	野川	宮崎	犬藏	菅生
予 防 規 程 該 當	一般取扱所	7	-	-	-	-	6	1
	営業用給油取扱所	18	3	3	3	3	4	2
その他の施設	屋内貯蔵所	16	4	3	3	-	2	4
	屋内タンク貯蔵所	4	-	-	1	-	3	-
	地下タンク貯蔵所	19	3	2	4	-	4	6
	移動タンク貯蔵所	12	-	-	12	-	-	-
	屋外貯蔵所	-	-	-	-	-	-	-
	自家用給油取扱所	7	1	-	2	-	2	2
	一般取扱所	10	1	1	1	-	2	5
合計		93	12	9	26	3	23	20

少量危険物施設状況

(令和7年3月31日現在)

署所別 施設別		合計	本署	向丘	野川	宮崎	犬藏	菅生
少量危険物施設		221	44	23	33	40	23	58

危険物保安監督者選任状況

(令和7年3月31日現在)

選任者数	事業所数	施設数
178	43	49

月別火災状況

(令和6年中)

\	火災件数					焼損面積 (m ²)	損害額 (千円)	死者	負傷者
	小計	建物	車両	船舶	その他				
1月	4	2	-	-	2	52 (18)	5,384	-	2
2月	2	1	-	-	1	0 (0)	-	-	-
3月	5	3	-	-	2	125 (0)	21,691	1	-
4月	2	1	-	-	1	- (0)	8	-	1
5月	2	1	1	-	-	0 (0)	37	-	-
6月	6	5	1	-	-	91 (1)	11,355	-	1
7月	3	2	-	-	1	1 (0)	3	-	2
8月	8	6	1	-	1	13 (3)	645	-	1
9月	4	4	-	-	-	0 (0)	30	-	-
10月	6	5	-	-	1	33 (5)	90	-	2
11月	4	3	-	-	1	30 (1)	192	1	1
12月	7	5	1	-	1	257 (0)	14,995	1	1
宮前区合計	53	38	4	0	11	602 (28)	54,430	3	11
川崎市	398	282	21	1	94	4,215 (1200)	348,194	14	72
比率 (%)	13.3	13.5	19.0	0.0	11.7	14.3 (2.3)	15.6	21.4	15.3

※ 焼損面積については建物のみで、上段は床面積、下段は表面積です。

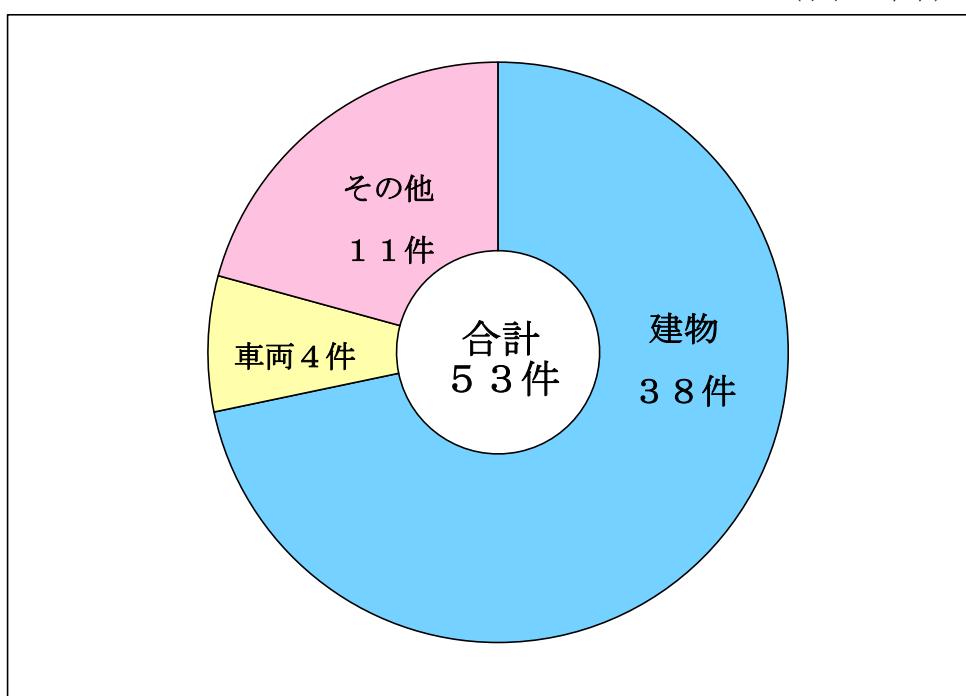
署所・町名別火災件数

(令和6年中)

署所名	町名	件数	町名	件数	町名	件数	小計
本署	神木1丁目	-	宮崎	-	宮前平1丁目	-	10
	神木2丁目	-	宮崎1丁目	-	宮前平2丁目	3	
	小台1丁目	3	宮崎2丁目	-	宮前平3丁目	1	
	小台2丁目	-	宮崎3丁目	2	馬絹5丁目	-	
	土橋1丁目	-	宮崎4丁目	-	馬絹6丁目	-	
	土橋2丁目	-	宮崎5丁目	-			
	土橋7丁目	-	宮崎6丁目	1			
向丘	平1丁目	-	神木本町1丁目	-	五所塚2丁目	-	10
	平2丁目	-	神木本町2丁目	1	けやき平	-	
	平3丁目	2	神木本町3丁目	-	南平台	1	
	平4丁目	1	神木本町4丁目	1	白幡台1丁目	-	
	平5丁目	-	神木本町5丁目	2	白幡台2丁目	-	
	平6丁目	1	五所塚1丁目	1			
野川	野川台1丁目	-	南野川3丁目	-	西野川2丁目	2	7
	野川台2丁目	-	野川本町1丁目	1	西野川3丁目	-	
	野川台3丁目	-	野川本町2丁目	-	梶ヶ谷	1	
	南野川1丁目	-	野川本町3丁目	-			
	南野川2丁目	3	西野川1丁目	-			
宮崎	馬絹1丁目	-	有馬3丁目	-	有馬9丁目	2	6
	馬絹2丁目	-	有馬4丁目	-	東有馬1丁目	-	
	馬絹3丁目	-	有馬5丁目	-	東有馬2丁目	-	
	馬絹4丁目	1	有馬6丁目	-	東有馬3丁目	-	
	有馬1丁目	1	有馬7丁目	-	東有馬4丁目	-	
	有馬2丁目	1	有馬8丁目	-	東有馬5丁目	1	
犬藏	初山2丁目	2	土橋3丁目	-	鷺沼2丁目	1	16
	菅生6丁目	3	土橋4丁目	-	鷺沼3丁目	-	
	犬藏1丁目	1	土橋5丁目	1	鷺沼4丁目	2	
	犬藏2丁目	3	土橋6丁目	-			
	犬藏3丁目	1	鷺沼1丁目	2			
菅生	菅生1丁目	1	菅生5丁目	-	水沢2丁目	-	4
	菅生2丁目	-	初山1丁目	-	水沢3丁目	-	
	菅生3丁目	-	菅生ヶ丘	1	潮見台	1	
	菅生4丁目	-	水沢1丁目	1			
					合計		53

火災種別件数

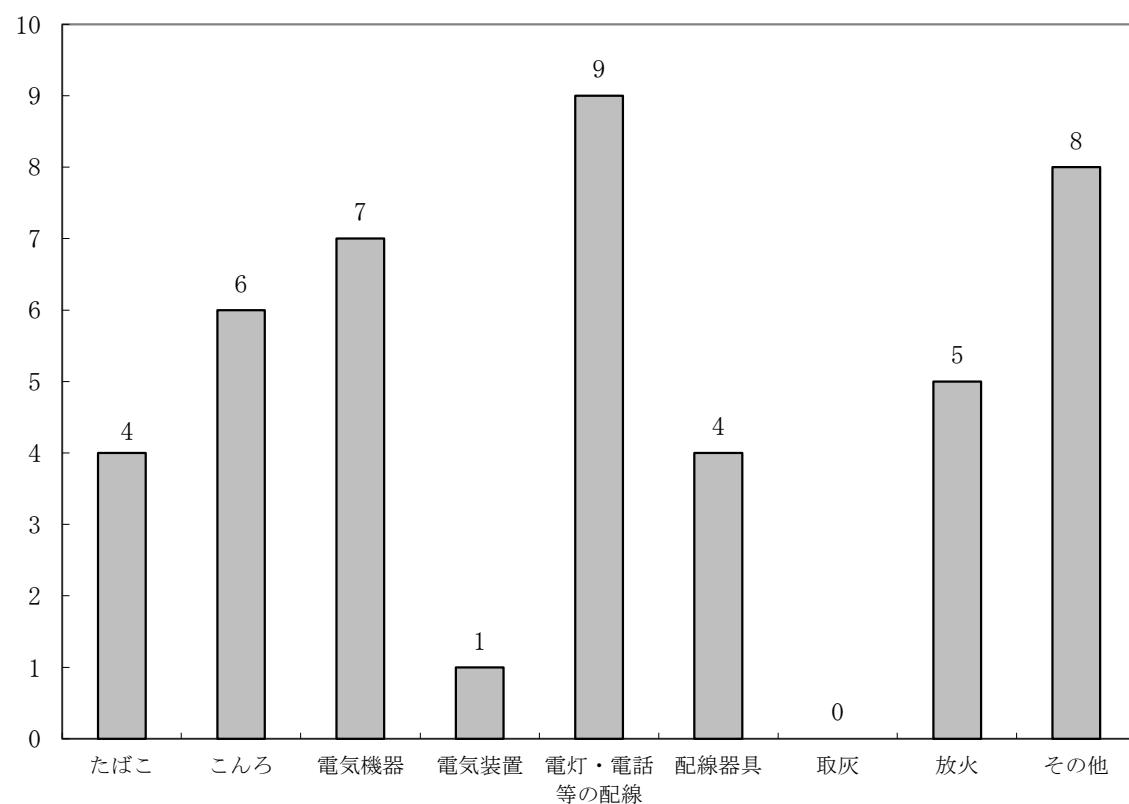
(令和6年中)



出火原因別件数

(件)

(令和6年中)



令和6年中の主な火災

月 日	現 場		焼 損 程 度	死傷者	
	所在地	用 途		死者	負傷者
1月16日	神木本町 4丁目	住宅	<p>木造平屋建、建築面積52平方メートルの住宅1棟全焼 類焼6棟</p> <p>①住宅のうち、網戸2枚若干焼損並びに1階西側及び2階西側の網戸若干溶融。 ②住宅のうち、雨どい、ブロック架台アルミフェンス及び植栽2本焼損。 ③住宅のうち、外壁2平方メートル、網戸1枚及び雨どい焼損。 ④住宅のうち、外壁8平方メートル、窓ガラス1枚及びエアコン屋外配管焼損並びに換気口1箇所すすけ。 ⑤住宅のうち、外壁3平方メートル、屋根、雨どい、窓ガラス6枚、網戸2枚及び屋外付帯設備焼損、居室内収容物水損、ウッドデッキ若干、雨どい2箇所、敷地内の植木鉢、花壇等破損。 ⑥住宅のうち、窓ガラス2枚、網戸2枚及び雨どい焼損。</p>	0	2
3月6日	鷺沼 4丁目	住宅	<p>木造2階建、建築面積96平方メートル、延べ面積125平方メートルの住宅1棟全焼 類焼2棟</p> <p>①防火造2階建、建築面積65平方メートル、延べ面積118平方メートルの住宅のうち、雨どい若干溶融。隣接敷地内のコンクリート製階段及びブロック架台アルミ製フェンス各々破損並びにエアーコンディショナー屋外配管汚損 ②防火造2階建、敷地内のコンクリート製階段及びブロック架台アルミ製フェンス各々破損並びにエアーコンディショナー屋外配管汚損</p>	1	1
6月16日	菅生 6丁目	住宅	<p>木造2階建、建築面積82.3平方メートル、延べ面積139.7平方メートルの住宅のうち、66平方メートル焼損及び51平方メートル水損 類焼1棟</p> <p>木造2階建、建築面積50平方メートル、延べ面積76平方メートルの住宅のうち、雨どい若干溶融</p>	0	1

10月22日	菅生ヶ丘	倉庫	<p>木造平屋建、建築面積9. 72 平方メートルの物置1棟全焼、類焼2棟、敷地内のマイコンメーター1基、立ち木、合成樹脂製フェンス及び隣接敷地内の立ち木各々焼損 類焼2棟</p> <p>①木造2階建、建築面積160 平方メートル、延べ面積192 平方メートルの住宅の外壁5 平方メートル焼損、台所内天井及び収容物若干水損、吊戸棚汚損。</p> <p>②木造2階建、建築面積52 平方メートル、延べ面積79 平方メートルの住宅のうち、波板屋根及び雨どい若干溶融</p>	0	1	
10月29日	有馬1 丁目	共同住宅	<p>耐火造5階建、建築面積459 平方メートル、延べ面積1,742 平方メートルの共同住宅のうち、208号室（占有面積約16 平方メートル）約13 平方メートル及び収容物焼損並びに外壁約2 平方メートルすすけ、共有廊下汚損</p>	0	1	
11月24日	犬藏2 丁目	共同住宅	<p>耐火造地下1階地上5階建、建築面積1,503.53 平方メートル、延べ面積7,255.78 平方メートルの共同住宅のうち、203号室（占有面積73.93 平方メートル）内の居室約20 平方メートル及び廊下壁面約1 平方メートル焼損並びに外壁約1 平方メートルすすけ203号室玄関ドア、窓ガラス2枚、パーテーション2枚各々破損</p> <p>103号室若干水損、2階共有廊下汚損</p>	1	1	
12月28日	西野川2 丁目	住宅	<p>木造2階建、建築面積54 平方メートル、延べ面積107 平方メートルの住宅1棟全焼 類焼5棟</p> <p>①木造2階建住宅、建築面積41 平方メートル、延べ面積78 平方メートルのうち、雨どい若干焼損</p> <p>②木造2階建住宅、建築面積38 平方メートル、延べ面積75 平方メートルのうち、外壁のエアコン配管化粧カバー若干焼損、外壁雨どい、レンジフードが若干破損、2階ガステーブル及び換気扇水損</p> <p>③木造2階建住宅、建築面積28 平方メートル、延べ面積51 平方メートルのうち、屋外配管若干焼損及び屋外柱部分若干破損</p> <p>④木造2階建住宅、建築面積41 平方メートル、延べ面積78 平方メートルのうち、約20 平方メートル及び収容物焼損</p> <p>⑤木造2階建住宅1棟全焼</p>	1	0	

※ 死傷者が発生した火災及び社会的影響があった火災を掲載しています。

過去 5 年間 の 火 災 発 生 状 況

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火 災 件 数		33	50	40	36	53
区 分	建 物	26	30	29	20	38
	車 両	4	2	3	5	4
	そ の 他	3	18	8	11	11
焼損面積 (m ²)		505	358	261	158	629
損害額 (千円)		36,405	21,469	7,706	22,524	54,430
焼 損 棟 数		27	35	31	21	57
死 者		-	3	-	-	3
負 傷 者		21	14	10	7	11
り 災 世 帯		40	37	49	38	51
り 災 人 員		77	95	91	79	117
出 火 原 因 別	放 火	3	11	3	3	5
	こ ん ろ	11	7	9	5	6
	た ば こ	6	11	6	5	4
	電 気 関 係	6	10	11	15	21
	火 遊 び	-	2	-	-	1
	そ の 他	7	9	11	8	16

過去5年間のガス事故発生状況

年別	令和2年				令和3年				令和4年				令和5年				令和6年			
区分 種別	小計	都市ガス	液化石油ガス	その他																
漏洩	2	-	2	-	1	1	-	-	1	-	1	-	4	3	1	-	-	-	-	-
中毒	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
爆発	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-
合計	2	0	2	0	1	1	0	0	1	0	1	0	4	3	1	0	2	2	0	0

署所別管内消防隊災害出場状況

(令和6年中)

署所別 種別及び項目		合 計	本 署	向 丘	野 川	宮 崎	犬 藏	菅 生
火 災	出場件数	52	9	9	6	6	18	4
	出場隊数	304	43	64	41	34	98	24
	出場人員	1,089	117	285	108	121	355	103
	放水隊数	70	2	29	8	4	14	13
警 戒	出場件数	36	10	3	5	6	7	5
	出場隊数	154	43	12	20	28	32	19
	出場人員	688	169	44	76	103	223	73
偵 察	出場件数	141	40	11	21	32	25	12
	出場隊数	182	47	15	22	45	33	20
	出場人員	691	188	61	88	150	127	77
救 助	出場件数	160	28	32	26	44	17	13
	出場隊数	795	135	155	131	224	88	62
	出場人員	2,870	488	547	465	756	397	217
そ の 他	出場件数	438	103	73	93	81	13	75
	出場隊数	931	211	170	190	177	22	161
	出場人員	3,262	751	591	670	625	88	537
合 計	出場件数	827	190	128	151	169	80	109
	出場隊数	2,366	479	416	404	508	273	286
	出場人員	8,600	1,713	1,528	1,407	1,755	1,190	1,007
	放水隊数	70	2	29	8	4	14	13

※ 指令による出場件数です。

※ その他には、管外応援・PA連携・風水害・調査、火災及び救助出場の誤報並びに虚報を含みます。

過去 5 年間 の 救 急 出 場 件 数

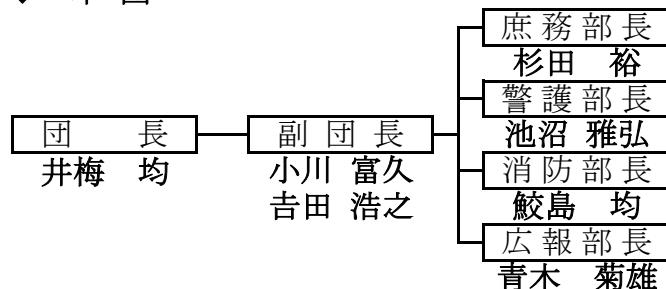
年 別 種 別	令 和 2 年	令 和 3 年	令 和 4 年	令 和 5 年	令 和 6 年
急 病	7,377	7,836	10,014	10,232	10,116
交 通 事 故	581	577	664	633	660
一 般 負 傷	1,834	1,812	2,019	2,222	2,314
火 災	40	34	29	34	38
自 然 災 害	-	1	-	-	
水 難 事 故	-	2	1	-	
加 害	42	46	23	45	44
自 損 行 為	79	87	104	103	110
労 働 災 害	64	47	63	47	64
運 動 競 技	12	17	19	22	28
転 院 搬 送	447	489	541	538	493
医 師 搬 送	2	-	-	-	
資 器 材 搬 送	-	2	-	-	
そ の 他	366	256	297	268	311
合 計	10,844	11,206	13,774	14,144	14,178

※指令による宮前署救急隊の出場件数です。

宮前消防団の組織

(令和7年4月1日現在)

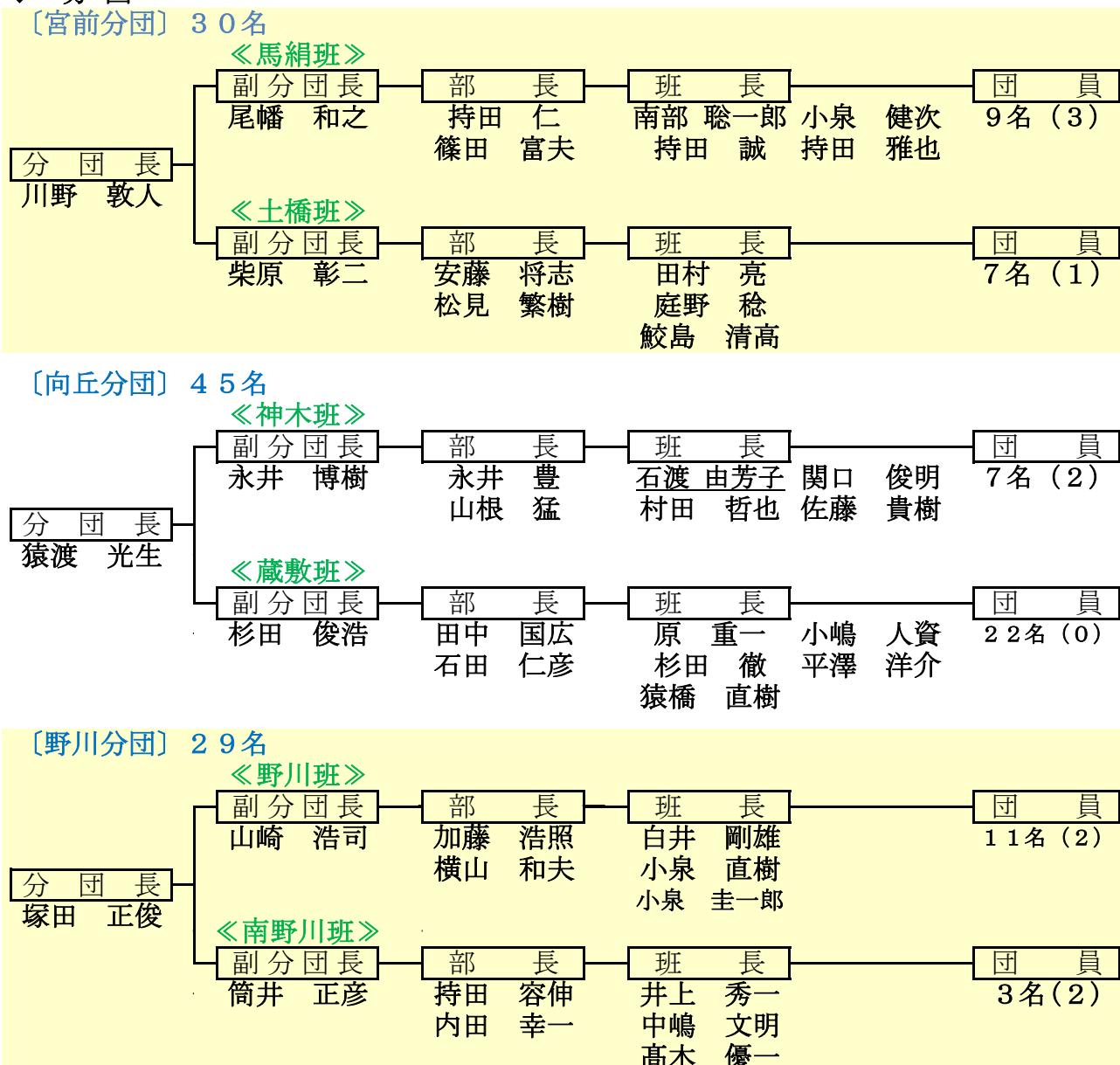
◆ 本団



◆ 機能別団員

大規模災害団員（後方支援活動）・広報活動団員	1名 (1)
------------------------	--------

◆ 分団



※消防団員の定数は137名で、現員は110名となっています。

※（ ）内は女性団員数で内数を示します。

※下線付きは女性団員を示します。

消防団の車両等の配置状況

(令和7年4月1日現在)

本団・分団別	班別	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	耐震用小型動力ポンプ(台車付)	備考
本団			1		本署保管
宮前分団	馬絹班	1		1 (54号)	
	土橋班	1		1 (20号)	
向丘分団	蔵敷班	1		1 (45号)	
	神木班	1		1 (21号)	
野川分団	野川班	1		1 (44号)	
	南野川班	1		1 (55号)	
合計		6	1	6	

分団の受持区域等

(令和7年4月1日現在)

分団名	班名	器具置場所在地	受持区域
宮前分団	馬絹班	馬絹1丁目30番12号	宮前区のうち、馬絹1～6丁目、小台1・2丁目有馬1～9丁目、土橋1～7丁目、宮崎、宮崎1～6丁目、宮前平1～3丁目、鷺沼1～4丁目
	土橋班	土橋6丁目2番地29	
向丘分団	神木班	平1丁目10番25号	宮前区のうち、向ヶ丘の一部(宮前区の区域に属する区域に限る。)、けやき平、南平台、白幡台1・2丁目、神木1・2丁目、神木本町1～5丁目、平1～6丁目、菅生ヶ丘、水沢1～3丁目、潮見台、初山1・2丁目、菅生1～6丁目、犬藏1～3丁目、五所塚1・2丁目
	蔵敷班	菅生3丁目16番1号	
野川分団	野川班	野川本町1丁目5番31号	宮前区のうち、野川本町1～3丁目、西野川1～3丁目、野川台1～3丁目、南野川1～3丁目、梶ヶ谷、東有馬1～5丁目
	南野川班	南野川1丁目3番1号	

宮前消防団配置図

(令和7年4月1日現在)

向丘分団蔵敷班



向丘分団神木班



野川分団野川班



宮前分団土橋班



宮前分団馬絹班



野川分団南野川班



宮前区救急告示・救命救急センター医療機関

(令和7年4月1日現在)

病 医 院 名	診 療 科 目	所 在 地 ・ 電 話 番 号
聖マリアンナ 医科大学病院 救命救急センター	全 科	宮前区菅生2-16-1 (977-8111)

※令和7年4月1日現在、宮前区には救急告示医療機関はありません。

消 防 協 力 团 体

(令和7年4月1日現在)

団 体 名	会 員 数 等
宮 前 防 火 協 会	会 員 182団体・事業所
宮 前 消 防 研 究 会	会 員 33事業所
宮前消防ボランティア委員会	会 員 27名
宮 前 地 区 少 年 消 防 ク ラ ブ	ク ラ ブ 員 16名
初 山 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	ク ラ ブ 員 182名
ゆりかご幼稚園幼年消防クラブ	ク ラ ブ 員 198名
潮見台みどり幼稚園幼年消防クラブ	ク ラ ブ 員 250名

急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし

《2025年度全国統一防火標語》



宮前消防署

郵便番号：216-0006

所在地：川崎市宮前区宮前平2丁目20番地4

電話番号：044-852-0119 FAX：044-862-2795

【メール】84miyo@city.kawasaki.jp

【メール】84mi1k@city.kawasaki.jp

【メール】84mi2k@city.kawasaki.jp

向丘出張所

郵便番号：216-0022

所在地：川崎市宮前区平1丁目4番17号

電話・FAX：044-888-0119 【メール】84mukai@city.kawasaki.jp

野川出張所

郵便番号：216-0001

所在地：川崎市宮前区西野川2丁目7番8号

電話・FAX：044-755-0119 【メール】84nogawa@city.kawasaki.jp

宮崎出張所

郵便番号：216-0003

所在地：川崎市宮前区有馬2丁目8番11号

電話・FAX：044-855-0119 【メール】84miyaza@city.kawasaki.jp

犬藏出張所

郵便番号：216-0011

所在地：川崎市宮前区犬藏1丁目10番2号

電話・FAX：044-976-0119 【メール】84inuku@city.kawasaki.jp

菅生出張所

郵便番号：216-0015

所在地：川崎市宮前区菅生3丁目43番23号

電話・FAX：044-977-0119 【メール】84sugao@city.kawasaki.jp

